

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

東京科学大学(医歯学系)

前期日程

科目

英語

総括

試験時間	90分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	120点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

<総論>

英文は昨年より少々易しくなったが、英文中のセクション区切りがなくなった。

<特記事項・トピックス>

- ・英文の長さは、昨年より5行程度短くなった。
- ・英文は全体的に平易で、専門性もそれほど高くなかった。
- ・[6]の論述問題では、昨年同様、「英数字は2文字で1マスとすること」という注記が付いていた。

<合格への学習対策>

最大の特徴は、1,600～2,000wordsの長い英文と、数百字にわたる要約である。しかし、最後の要約ばかりでなく、医学科・歯学科では英問英答と内容一致問題で、他学科では内容一致、同義語選択、指示語問題でも勝負する力が求められる。

対策としては、単語の推測力を磨きつつ、さらに的確に論旨を把握する練習を積む必要がある。まずは、1～2ページの文章を100字程度に要約する練習から始め、夏休みの頃から、1,500words前後の文章を300～600字で要約する練習にかかるとよい。

内容は医療に関連したものばかりでなく、生態系・社会・心理・政治・経済に関わるものなど、幅広い内容が出題される。日本語での情報インプットを常に心がけながら、様々な英文に触れておきたい。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	分野・テーマ(表題)	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
[1]	選択	単語の意味選択	例年通り。「文脈上」の同義語を選ぶことがポイント。paramountの同義語選択では、a) essentialとe) importantのいずれも間違いとは言えないため、一つの正解を選びにくかった。	標準
[2]	記述	指示語の内容説明(英語による)	例年どおり「置き換え可能になるように」という指示があった。	標準
[3]	選択	内容一致(英文)	量が大変多いので難しめではあるが、今年も曖昧な選択肢はなく、受験生にとって解きやすかったと思われる。	やや難
[4]	記述	英問英答	「自分の言葉で」「完全な文で」「10-25words」という指示は、例年通りであるが、今年は特に、英文どおりではなく説明内容を自分で考えるものが含まれており、短い語数でまとめるのが至難の業だった。	難
[5]	記述	英文和訳	訳語を選ぶ必要のある単語は含まれていたが、全体的に平易で、受験生にとって解きやすかったと思われる。	標準
[6]	記述	要約 「生物防除(biological control / biocontrol)とは何か、それを成功に導くための注意点とは何かについて、この記事の著者が述べていることを、キーワー	400字の論述というのは、一般的には難問だが、まとめるべき箇所を絞り込みやすく、受験生にとって、まとめやすい出題だったと思われる。	難

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

		ドをすべて用いて日本語で400字以内にまとめなさい。なお、キーワードは初出の際に以下の例のように囲むこと。 害虫 農作物 宿主城		
--	--	---	--	--

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。

出典・資料

“A plague of pests is coming for California. Here's how to stop it” (Andrew Zaleski) <i>The New York Times</i> (2025年7月2日)
--